

第3次 朝日町子ども読書活動推進計画 概要

策定の背景と趣旨

平成13年に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、5年（令和5年度～令和9年度）にわたる子どもの読書活動推進に関する取組を計画的に推進するよう策定する。

朝日町の子ども読書の現状と考察

* 普段読書をする子ども、「読書が好き」と回答する子どもの割合は、いずれも全国平均と同等かやや低い。スマートフォン等の普及により簡単に興味関心を満たすことができる中で、読書の楽しさを見出せないのではないか。
* 図書館は、利用登録者数の減少に対し児童書貸出冊数は増加していることから、読書習慣のある子どもが繰り返し図書館に行く状況が考えられる。

前計画における主な成果と課題

家庭

（成果）ブックスタート事業における絵本引き換え率 R4年度 85.4%
（課題）保護者への読書の啓発、家庭における読書活動の取り入れ方

あさひライブラリー

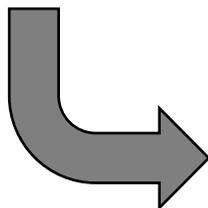
（成果）ティーンズコーナー設置、「楽んちょ」の作成、ワークショップ開催、ボランティアによるストーリーテリング実施 等
（課題）図書館未利用者への広報、ボランティアの高齢化と支援 等

幼保一体化施設あさひ園

（成果）保育活動における読書活動
（課題）家庭における読書活動の把握、園内の読書環境の整備 等

朝日町立学校

（成果）読書時間の充実、学校図書館の整備、図書館まつりの実施 等
（課題）学校司書による授業の増加、タブレット学習とのバランス 等



「第3次 朝日町子ども読書活動推進計画」の基本方針

1. 家庭・地域・学校等が相互に連携・協力した取組の推進
 2. 子どもの読書活動推進に関わる人材の育成
 3. 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発
 4. 読書を楽しむ子どもが育つための環境の整備・充実
 5. 子どもの読書への関心を高める取組
- ・ 読書バリアフリー法や ICT 環境の変化を踏まえた取組
 - ・ 子どもが主体となる活動の推進
 - ・ デジタル社会に対応した取組の促進
 - ・ すべての子どもが参加しやすい取組の検討・実施
 - ・ 子どもの発達段階に応じた読書環境の整備・充実

子どもの読書活動推進のための取組

1. 家庭における読書活動推進のための取組

- (1) ブックスタート事業の継続

2. あさひライブラリーにおける読書活動推進のための取組

- (1) 職員の資質の向上及び職員体制の整備
 (2) 子どもの本の充実
 (3) ブックリストの作成
 (4) 子育て支援団体・地域住民との連携
 (5) すべての子どもたちが利用しやすい環境づくり
 (6) 子どもの読書活動を広げる各種行事、講座の開催
 (7) 関係機関等との連携及び支援
 (8) 啓発広報の推進

3. 幼保一体化施設あさひ園における読書活動推進のための取組

- (1) 子どもの本の充実
 (2) 子どもが本と親しむ機会の充実
 (3) 啓発

4. 朝日町立学校における読書活動推進のための取組

- (1) 読書の時間の充実
 (2) 人的環境の整備
 (3) 学校図書館資料のさらなる充実
 (4) 学校図書館施設の整備
 (5) あさひライブラリーとの連携
 (6) 啓発



左記の取組により、子どもの読書活動を推進効果的に推進されていか客観的に把握するため、成果指標を設定

	項目	現状 (R4年度)	目標 (R9年度末)
1	ブックスタート事業における 絵本の受取率	85.4%	90.0%
2	あさひライブラリーにおける子どもの 利用登録者数(0歳~18歳)	1,630人	2,000人
3	あさひライブラリーにおける児童書の 蔵書冊数	21,871冊	22,000冊
4	あさひライブラリーにおける児童書の 貸出冊数 ※団体貸出冊数除く	39,936冊	41,000冊
5	あさひライブラリーにおける児童書の 団体貸出冊数	2,662冊	3,000冊
6	学校の授業時間以外に、平日10分以上 読書する子どもの割合【全国学調】	小学生 59.7% 中学生 43.3%	小学生 65.0% 中学生 65.0%
7	読書が好きな児童生徒の割合 【全国学調】	小学生 68.8% 中学生 68.6%	小学生 70.0% 中学生 70.0%
8	学校図書館標準の達成状況	小学生 100% 中学生 108%	小学生 100% 中学生 100%
9	学校と公共図書館との連携状況	小学校 1 中学校 0	小学校 1 中学校 1